



のっぽの手



2011 年度総会開催(7 月 16 日)

ふくふくプロジェクト本格始動！！

中間支援 NPO 復興のとくみ

2011 年 8 月発行

「転換期に巡り合わせて」

～ NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンター新理事長あいさつ ～

新理事長 星野 珙 二

3.11 の大震災時はちょうど仙台におりました。交通はすべて遮断され、2日間避難所生活を余儀なくされました。退職を前に、第二の人生にあれこれ思いを巡らせている最中の出来事でした。御隠居さんよろしく、人生を楽しもうかと考えておりましたが、この震災から現役時代よりも忙しい日々が始まってしまいました。NPO に関わってきた人間が、この機にしっかり活動しなかったら、今まで**何のために**やってきたのか、後あとまで禍根を残すに違いないと、覚悟してギアをチェンジしました。

巡り合わせについても不思議なものを感じます。私が生まれたのは 1945 年の 12 月、まさに終戦の直後で、天と地がひっくりかえるような価値観の大転換期のさ中でありました。今回もまた、**第二の人生の誕生期**において、ある意味で価値観の大転換期に巡り合わせたこととなります。

また、阪神淡路大震災との関係でも気になります。多くのボランティアが駆け付け、**復興支援**に圧倒的な力を発揮し、それが今日私たちの存在の拠り所となる NPO 法の成立に結びついていきました。東日本大震災に対する NPO の取組みにおいて、私たちが後世に何を残すことができるのか、そしてどれだけの知恵を伝えていけるのか、やや覚束ないところが無きにしもあらずです。

理事長として**やるだけやってみよう**と思います。皆さまのご協力をお願いいたします。

→ 南相馬市の市民活動団体と、復興に向けての懇談会をおこない、現場に耳を傾けた。



●2011年度 役員の紹介 ※2011 年度通常総会で、役員の任期満了にともない、役員改選がおこなわれました。

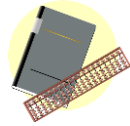
- | | | | |
|-------|------------------------|-----|---------------------------|
| 理 事 長 | 星野 珙二 (福島大学特任教授) | 理 事 | 遠藤ヒロ子 (福島県議会図書館) |
| 副理事長 | 佐藤 和子 (まちの和研究所代表) | 理 事 | 林 克重 (タカラ印刷㈱代表取締役) |
| 常務理事 | 牧田 実 (福島大学人間発達文化学類教授) | 理 事 | 深田 俊雄 (㈱バーク・プラン研究室) |
| 常務理事 | 齋藤 美佐 (ふくしま情報ステーション所長) | 理 事 | 作田謙太郎 (㈱電工社代表取締役) |
| 理 事 | 清水 修二 (福島大学理事・副学長) | 監 事 | 菅野 晴隆 (法人ブレインハート法律事務所弁護士) |
| 理 事 | 北村 寧 (放送大学福島学習センター所長) | 監 事 | 松田 英明 (公務員) |
| 理 事 | 小林 廣充 (大日本コンサルタント㈱) | | |

NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンターをよろしくお願いいたします。



2011 年度通常総会報告

見直しの視点を取り入れながら
～通常総会で思うこと



本年度の総会においては、2010年度の事業報告および決算報告は満場一致で認められました。ただし、監事からは前回指摘した事項でまだ改善が見られない点が残っていること、さらには今回赤字の主要因になっている「ふくしま元気市民活動助成金」は収支のバランスが分かるような会計の工夫が必要との指摘があり、次回に向けて検討することになりました。

2011年度の事業方針・事業計画案に関しては、県北地方を中心とした市民活動の拠点機能を強化するための取組みを最優先事項としたことが了解されました。ふくふくプロジェクト会議、市民活動フェスティバルへの取組みなどに力を入れていくことになります。その他、継続の事項に関しては、マンネリ化を避け、一つ一つ見直しの視点を反映しながら取組んでいきたいと思っております。みなさん、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
(報告:ふくしま NPO ネットワークセンター理事長 星野珠二)

ふくしま NPO ネットワークセンターへの ご寄附をありがとうございました。

～2010年6月～2011年5月～

(順不同)

福島トヨタ自動車株式会社 様
特定非営利活動法人事業サポートセンター 様
特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会 様
福島信用金庫 様
原国雄とその仲間たち 様
有限会社佐平 様
永倉 禮司 様 中里 知永 様
紺野恵美子 様 守友 裕一 様
佐藤 弘一 様 マリケオマノタム 様
遠藤 孝悦 様 牧田 昇治 様
大橋 徹 様 滝口 裕 様
渡辺 裕貴 様 佐藤 和子 様
齋藤 健 様 清水 修二 様
牧田 実 様 齋藤 美佐 様
匿名希望 3 名 様

皆さんのお力添えに感謝するとともに、今後も使命感を忘れず中間支援 NPO の活動に精進してまいります。

◆認定 NPO のふくしま NPO ネットワークセンターでは、ご寄附された方の寄付控除が適用されます。これからのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

2011 年度通常総会記念シンポジウム

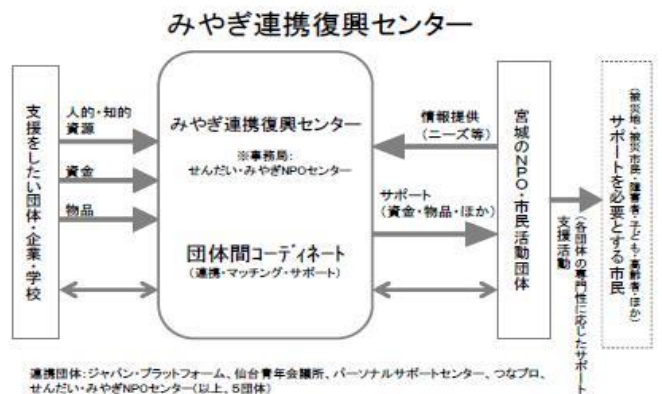
「中間支援 NPO の復興支援の取り組み状況と課題」の
開催報告



↑写真右から、パネリスト: 福島 NPO ネットワークセンター／星野珠二、
せんだい・みやぎ NPO センター 紅邑晶子氏、風・波デザイン／丸谷佑介
氏、コーディネーターのふくしま NPO ネットワークセンター／牧田実

去る7月16日、福島市市民活動サポートセンターにて、私どもふくしまNPOネットワークセンターの第12回となる通常総会にひきつづき、記念シンポジウムが開催されました。

「中間支援NPOの復興支援の取り組み状況と課題——中間総括として」をテーマとする記念シンポジウムを開催しました。宮城県から特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターの紅邑(べにむら)晶子代表理事、岩手県から特定非営利活動法人風・波デザインの丸山佑介代表運営委員をパネリストとしてお招きし、当センターの星野新理事長を加え、東日本大震災のおもな被災地である東北三県における中間支援組織の活動状況と課題についてパネル・ディスカッションを行いました。紙幅の関係で詳しく紹介することができないのが残念ですが、独自のネットワークづくり、行政との協働、情報の集約と一元化、ニーズとシーズのマッチング、運営資金の調達など、多くの共通する課題を抱えながらも、いずれの点においても彼我の力量の差を感じさせられたことを、当日の進行役としては正直に告白しておきたいと思っております。また、これを機会に三県の連携を深め、全国に被災地からの情報発信の機能を強化していきたいものだと思います。



事例紹介された「みやぎ連携復興センター概念図」(HPより)
(報告:ふくしま NPO ネットワークセンター常務理事 牧田実)

ふくふくプロジェクト情報センター本格活動開始

～ “冬に着るものがない” の巻 ～

ふくふくプロジェクト情報センター事務局長 早川哲郎

今日(8月11日)、矢野目、笹谷の仮設住宅を訪ねました。井戸端会議のおばあちゃん達に出会ってしばし立ち話。津波で家ごと流されて「冬に着るものがない」と猛暑のなか心配していました。震災から5か月経っても避難者の方々の苦難は続いているのだと改めて知った次第。

ふくふくプロジェクト情報センターの事務局長でありながら、ろくに仕事もせずに3か月経過。今月から本格活動に入って「これから何をすれば」と思った矢先。まだまだ支援は必要だし、復興もこれから。やることいっぱいと思いは先走るものの、本音を言えば支援活動の支援とはなんぞや。手探りの活動がしばらく続きそうです。

支援活動団体からは「とにかく情報を」との要望。その終端の受益者は被災者(私たちもそうですが)でなければなりません。前線で支援活動する団体や個人の後方支援をイメージしているものの、現場を知らずに役は果たせず、直接の支援に追われれば本来の役にあらず。その辺の頃合を計りながら「当事者性」を忘れずにいかなければと考えています。

福島市民もまた原子力災害の被災者です。福島市の復興への道筋は未知数であり多難であると思っています。その途上でNPOがどのような役割を果たしていけるのか、誰もがはじめての取り組みであり、そこにやり甲斐もあります。世界が注目する福島のこれから。みんなが主役の復興でありますように。

ふくふくプロジェクトとは？ = 「ふくしま NPO・市民団体連携復興プロジェクト会議」

福島県北地域をおもな活動拠点とする NPO・市民活動団体が情報を共有し、連携しながら、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故による被災への支援と復興に取り組むことを目的として設立されました。

◇情報をお寄せください。

ふくふくプロジェクト HP <http://fukufuku-project.net/>

NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンターHP <http://www.f-npo.jp/>

福島市市民活動サポートセンターHP <http://www.f-ssc.jp>

◇ふくふくプロジェクト事務局

〒960-8041 福島市大町 4-15 チェンバおおまち 3階

(福島市市民活動サポートセンター内)

TEL&FAX 024-521-9311 E-mail fpic@fukufuku-project.net

SAVE JAPAN!
PRAY FOR US, STAY WITH US, ENGAGE WITH US

【東日本大震災】エリア別情報サイト

私たちと一緒に支援と復興に取り組みましょう!

第4回 のっぽアカデミー「ボランティアをコーディネートすること」(開催報告)

東日本大震災の爪痕はまだ大きく、とくに津波の被害を受けた地域では、重機での大規模な作業とは別に、個人レベルでの瓦礫の撤去やヘドロの始末、家財道具の運びだしなどに、多くのボランティアを必要としています。けれども、のちに「ボランティア元年」と呼ばれるようになった 1985 年の阪神・淡路大震災と比べても、その被災地がけたはずれに広いにもかかわらず、というか広すぎるがゆえに、現地入りするボランティアの数はかなり下回る状態で推移しています。その一因に現地の受け入れ態勢が十分に整わないという事情もあるようです。

そこで、第4回 のっぽアカデミー(第61回 NPO 研究会)は、桜の聖母短期大学准教授にしてボランティアセンター長でもある池田洋子氏を講師にお招きし、「ボラ

ティアのコーディネート」をテーマとするお話をいただきました(2011年6月20日、福島市市民活動サポートセンター)。池田氏は、高等教育におけるボランティアの有用性を社会状況と勤務校の実態に即して明らかにしたうえで、ボランティアをコーディネートすることの意義と役割、その評価について具体的に論じてくださいました。

フロアとのやりとりでは、今回の震災をふまえた国際比較の視点、阪神との違い、大都市との違いなどの一般的な論点に加え、ボランティアやNPOがいまいかに行動すべきなのかというきわめて切実で実践的な問いをめぐる議論が活発に展開されました。

(報告:ふくしま NPO ネットワークセンター常務理事 牧田実)



星野珙二先生の退職のお祝いに添えて
～退職を祝う会開催報告～



大学時代は「星野王子様」と呼ばれていた…。



星野先生

星野珙二先生の福島大学退職を祝う会が、7月16日(土)、午後5時30分より福島ビューホテルにて58名が参加し、盛大に開催されました。

本年3月に福島大学を退職され、4月に開催を予定していましたが、震災の影響により、時期を延期しての開催となりました。

初めに発起人代表の佐藤和子 NPO ネットワークセンター副理事長より挨拶があり、引き続き、今野順夫福島大学前学長よりご祝辞を頂戴致しました。祝宴では、星野先生のご友人の大森真様の音楽グループのジャズ演奏や、親しい皆様方からのテーブルスピーチがあり、先生のお人柄を表すような和やかな会となりました。

また当日は、NPO ネットワークセンターの総会があり、本年度より星野先生が理事長に就任され、祝う会においても、今後の先生のご活躍を期待される声が多く聞かれました。退職されてもお忙しい日々が続きます。末文になりますが、ご参加賜りました皆様方にあらためて感謝申し上げます。

(報告: ふくしま NPO ネットワークセンター
理事 作田謙太郎)



東北ろうきん NPO パートナーシップ2011

まもなくスタートします!

ふれ愛の日。

体験型ボランティア [参加者募集]



ボランティア活動体験期間

2011年8月～2011年12月22日

東北労金では、地域デビュー応援プログラム「パートナーシップ制度」を実施して、5年目になります。地元 NPO との連携で、ボランティア体験のサポートをします。今年も福島県内 8 団体を体験の場としてスタートさせます。ぜひご参加を。

※詳しくはチラシ、のっぽの手次号をご覧ください。

- 福島市より受託、運営している施設
- 福島市市民活動サポートセンター(チェンバおおまち3F)
- ふくしま情報ステーション(コラッセふくしま1F)

※詳しくは各 HP をご覧ください。

元気1+1=3の「まちの駅」

～まちの駅全国フォーラム in 東京参加報告～



7月2日(土)東京都江戸川区タワーホール船堀に於いてまちの駅連絡協議会全国大会が開催され、全国から216名が参加しました。

1. 総会開催: 久住時男会長(新潟県見附市市長)の議事進行により、協議事項が承認されました。



2. 基調講演: 溝端宏観光庁長官が「新しい観光地域づくりに向けて」をテーマに講演し、「福島県には、みんなで復興に取り組もう」と呼びかけました。



3. 分科会: 5つのテーマで開催されました。
4. 交流会: 会場でサクランボの直売をおこない、多くの方に果物をとおしてふれあいました。

(参加者: ネットワークセンター理事、佐藤、牧田、作田、齋藤)

◇大会前日の6月30日(金)は「まちの駅被災地支援ふるさと物産市が小松川で開かれ、元気いっぱいサクランボの直売をおこないました。2日間にわたり、皆さんから元気と支援をいただきました。

(報告: ふくしま情報ステーション所長 齋藤美佐)



※8月7日(日)は新潟県見附市「まちの駅みつけネットワーク」のふるさと物産市の招待を受け、桃(あかつき)の直売をおこないました。また、義捐金もいただきました。

編集後記

✉ この度、結婚にあたり転居することになり、退職することになりました。約5年間、皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。(事務局・角田佐知子)

✉ 6月から角田佐知子さんの後任で、働かせていただくことになりました麻生柚実子と申します。NPOについては、勉強中でまだまだわからないことばかりですが、皆様とのご縁を大切に、早く仕事に慣れて頑張っていきたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。

(事務局・麻生柚実子)

●編集・発行: NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンター
〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル 8F
TEL 024-528-1211 FAX012-528-1218

E-mail center@f-npo.jp/ URL <http://www.f-npo.jp/>